

エッセー

自然が育む力

考えています。

ない」とか「眼が汚れる」

自然遊びを大切にしてい
たいと思います。

(尼崎市立美方高原自
然の家所長 田中聰人)

春風が心地良い季節ですね。何となく暖かい陽気に誘われて散歩したくなります。外へ行きたくなる衝動というこの季節ならではのチャンスを逃さず、子どもたちを伴って野山へ行きました。

子どもたちは冬の習慣から、室内遊びで時間を過ごそうとしてしまいます。季節の変わり目は気分の切り替え、遊びの切替もまた、春の記憶は1年で最も「優しさ」と「愛情」と「安らぎ」を感じます。さて、春の匂いといわれて何が思い出されますか? 梅の花、フキノトして生涯身に着くと私は

春風の土の香り…。

住んでいた環境によっても違いますが、想像する

走り回るのを許してほし

けましょう。もちろん、

子どもが泥んこになつて

うことがあるので、大人

も一緒に遊ぶ感覚を大切

にしましょう。

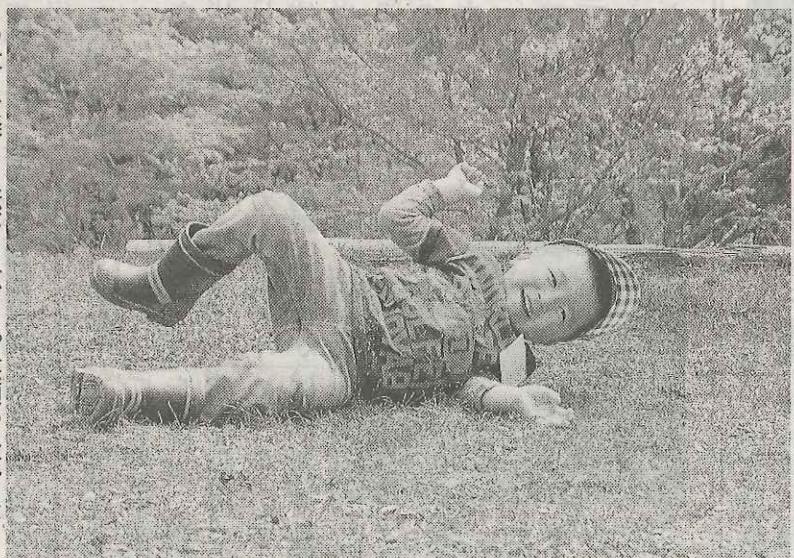
春は、ゴロゴロ大作戦!

土の感触は一生の宝物

ただで何となく自身が子どものころを思い出し、虫が多い夏とかと違つます。季節の変わり自は気ホツとくつろげますよ。斜面をゴロゴロ転がす。斜面を楽しむ子供たちが見守っている春だからこそ、遊びや教育論を難しく考えるよ

うです。草が生い茂り、虫が多い夏とかと違つて、春は地面に座りやすが芽吹いた地面はとても気持ちがいいものです。いつの間にか、大人も子どもも笑顔が出てきます。

ゴロゴロと遊び始める子どもを見守っている春だからこそ、遊びや教育論を難しく考えるよ



斜面を樂しく転がる子ども。笑顔の“花”が満開です